

第 18 回大気ライダー研究会プログラム

開催月日：2014年2月21日（金）

開催場所：首都大学東京秋葉原キャンパス

10：40～11：40 各種ライダー技術

- (1) ライダーを媒介にした測風リモートセンシング観測機器の SI トレーサビリティ構築に関する予備調査
中里真久（気象庁観測部）、森一正、大野恭治、上野圭介、岩渕真海、星野俊介、宮川幸治、駒崎由紀夫（高層気象台）、中島浩一、中村信一（気象測器検定試験センター）、萩野谷成徳、永井智広、酒井哲、青木重樹（気象研）
- (2) はやぶさ2 LIDAR を用いた、小惑星周辺ダスト検出の試み
千秋博紀（千葉工大）、押上祥子（国立天文台水沢）、和田浩二、小林正規、並木則行（千葉工大）、水野貴秀（宇宙科学研）、はやぶさ2 LIDAR サイエンスチーム
- (3) 日本の火星着陸探査機 MELOS に提案している小型ライダーの紹介
千秋博紀、小林正規（千葉工大）、椎名達雄（千葉大）、はしもとじょーじ（岡山大）、MELOS 着陸機気象観測検討グループ

昼食

13：00～13：30 特別講演

- (4) 2013-17 年の地球観測衛星 ～研究開発と利用の動向～
五十嵐 保（リモートセンシング技術センター）

13：40～15：00 エアロゾルのライダー観測

- (5) モンゴル・ダランザドガドにおけるアジアダストのシーロメーター観測
河合 慶、甲斐憲次、神 慶孝（名大）、星野仏方（酪農学園大）、杉本伸夫（環境研）、D. Batdorj（モンゴル気象環境監視庁）
- (6) 暖候期から寒候期へ移行する時期におけるウランバートルの大気境界層の構造と大気汚染に関する研究
王 敏叡、甲斐憲次（名大）、杉本伸夫（環境研）、D. Batdorj（モンゴル気象環境監視庁）
- (7) 佐賀のライダーとスカイラジオメータによって検出された 2013 年桜島火山灰の高度分布と光学特性
酒井 哲（気象研）、内野 修、森野 勇（環境研）、永井智広（気象研）、赤穂大河、川崎 健、奥村 浩、新井康平（佐賀大）、内山明博、山崎明宏（気象研）、松永恒雄、横田達也（環境研）
- (8) 2013 年福岡でライダーにより観測した下層対流圏エアロゾルの光学特性とラマン・蛍光ライダーの開発
白石浩一、松枝美華、高島久洋（福岡大）、水谷耕平、安井元昭（情報通信研究機構）

15：10～16：30 ライダーによる大気微量成分観測

- (9) 1.6 μmCO_2 -DIAL による低高度からの CO₂ 濃度移動観測
柴田泰邦、阿保 真、長澤親生（首都大）
- (10) 差分吸収法ライダーによる対流圏オゾン観測と化学気候モデル（MRI-CCM2）との比較
内野 修（環境研、気象研）、森野 勇（環境研）、酒井 哲、永井智広（気象研）、川崎 健、赤穂大河、奥村 浩、新井康平（佐賀大）、眞木貴史、出牛 真（気象研）、松永恒雄、横田達也（環境研）
- (11) インドネシア赤道ライダーによる雲とオゾン観測
阿保 真、柴田泰邦、長澤親生（首都大）
- (12) 高機能ライダーの南極昭和基地での観測と国内開発の現状報告
江尻 省、津田卓雄、西山尚典（極地研）、阿保 真（首都大）、富川喜弘（極地研）、鈴木秀彦（立教大）、川原琢也（信州大）、堤 雅基、中村卓司（極地研）